

女子学生通信

Kobe
Pharmaceutical
University
Press

Vol.175

2022 Autumn Winter

表紙のヒト

2年 野村祥子さん

神戸薬科大学には、同じ分野を志す学生たちと高いモチベーションを持って学べる環境があります。これは単科大学ならではの強みのひとつで、私も意欲的な友人たちと刺激し合いながら学業に励んでいます。また、プライベートでは環境啓発のNPO団体で活動するなど、日々、忙しくも充実した毎日を送っています。卒業後の進路はまだ検討中ですが、薬学の専門性を生かして、たくさんの人々の健康に貢献したいです。

ききょう通信

Contents

- 03 理事長メッセージ
- 05 理事長×学生座談会
- 07 SDGs 環境との調和を目指す新棟
- 09 教えて先生！研究内容をカンタンに
- 11 神薬カンケイ
- 13 ANOTHER STORY
- 15 Front Runner
- 17 2021年度授業評価アンケートの結果報告
- 18 卒業研究優秀賞受賞者

題字について
1970年10月に「ききょう通信」は創刊されました。
当時の金子太郎学長が書き下ろされた題字を175号のタイトルとしました。

2022年4月
神戸薬科大学は
90周年を迎えました。



大学認証評価
神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価
神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、更新は1年延長されます。



Message

Chairman
Miyata Okiko

神戸薬科大学の学生の皆様、コロナウイルスに負けず、お元気にお過ごしのことと存じます。2019年4月から3年間務めてまいりました学長の任期を2022年3月末で終了し、学生時代から長年お世話になりました本学を一旦は卒業しましたが、今年法人役員改選の年で、6月1日から4年間、理事長を務めることになりました。

学長時代には、「本学が発展し、他大学・企業・臨床現場・地域社会・高等学校・国際社会など、大学を取り巻くステークホルダーから必要とされる存在になり、さまざまな連携を構築することにより、教育・研究に多様性を持たせ、さらにそれらの連携は本学の更なる発展に導く」というコンセプトのもと、まず、学内のレベルアップに力を注ぎました。本学が学生ファーストのための教育・研究機関となるために、学生、教育職員、事務職員らが垣根を取り払い話し合える環境を作り、学内が一致協力して、学部教育の中心を担う総合教育研究センターを新設し、教育支援体制の強化を図りました。このセンターの最初の業務として、カリキュラムの整理・見直しを行い、順次性のある新カリキュラムを作成しました。このカリキュラムの特徴は、時代の変化に対応できる薬学のエキスパートを輩出するために、今すぐ役に立つ知識だけでなく、薬学という学問を基盤とした思考力を身につけるために、1〜4年次にかけて、連続的に思考力育成型演習科目を配当した点です。これらの演習を通して、考えることの楽しさを実感してください。

さらに学修環境の向上を旨として、教職協働で議論して、本学のキャンパスを見直し、整備するために、新教育棟の建設にも着手しました。2024年には完成する予定です。皆様、楽しみにしておいてください。

これから、北川学長を中心に本学の発展に向けた更なる方策を考えられ、教職協働で実行に移されることと思います。微力ですが、法人役員の方々にご協力いただきまして、本学を精一杯サポートしたいと思っています。

コロナ禍が続いておりますので、思う存分というわけにはいきませんが、学生の皆様には可能な限り、大学生活をエンジョイしていただきたいと思っています。



宮田理事長に聞いてみました。
総合教育研究センターについて教えてください。

2019年4月に学長を拝命してすぐ、本学で早急に行わなければならないことを抽出するために、教育職員・事務職員のみなさんと会議を開催しました。その中で浮かび上がってきたのが、「カリキュラム作成を含めた教育体制の見直し」です。学生ファーストで考えたカリキュラムを作成し、そのカリキュラムの分析・検証・見直しをスムーズに行い、常に最良の教育を提供し続ける「総合教育研究センター」を設置しました。センターの中には、統括部門、臨床部門、思考力育成部門、支援部門の4つの部門を置いて、基礎薬学教育と臨床薬学教育の充実およびそれらの有機的連携を図り、本学の教育に関する質保証を行います。

TOPICS 新カリキュラム

本学の理念には、「高度な薬学の知識を身につけた薬剤師や教育・研究者を養成すること」と記載されています。これは、薬剤師の養成だけでなく、広く薬学分野の学問を身につけ、社会で必要とされる「薬学のエキスパート」を育成することを意味しています。そのためには、知識だけでなく、「思考力」を養えるカリキュラムを構築する必要があります。そのため、科目が、連続的に1〜6年次に配当されています。1〜3年次には、少人数制の思考型演習、これは学年横断型の演習であり、学年をまたいで、協働で課題に取り組みます。4年次には薬学的症例解析演習が配当されており、臨床現場で問題を発見してそれを解決するための思考経路について学修します。4〜6年次に配当されている卒業研究では、それまでに身につけた主体的に学修する力、科学的思考力、課題発見力、問題解決力を発揮して、科学の未知への挑戦を行い、解決していきます。この様に本学では、知識の修得だけでなく、思考力を育成することにも力を入れています。

神戸薬科大学 理事長

宮田興子

神戸女子薬科大学大学院薬学研究所修士課程修了。2019年4月より学長、本年6月より理事長に就任。第3回有機合成化学協会関西支部賞、平成28年度日本薬学会学術貢献賞など多数受賞。

Talk Session

Chairman and Students

薬学を学ぶ魅力は？ 今後の夢や目標は？

宮田理事長と大学院生・学部学生に語り合っていました。

【理事長】まずは、薬学の道に進んだ理由を教えてくださいませんか？

【桑田さん】高校生の頃から生物や化学に興味があって、その両方を学んだり、研究ができる場所に惹かれたからです。

【理事長】すばらしいです。薬学部には、薬剤師になりたいから入学する人が多いですよね。もちろん、それも良いのですが、桑田さんは薬学そのものことにしっかりと見つめていて感心しました。今元さんは？

【今元さん】私も理科が好きで、中でも特に化学に興味がありました。それと薬剤師に憧れがあったのも大きいです。

【理事長】なるほど。二人とも「理科」が入り込んでですね。では実際に薬学を学んでみて、どんなところに魅力を感じていますか？

【桑田さん】例えば、「有機化学で勉強した薬品が、生物学で勉強した受容体に結合する」といったように、いろいろな科目が横断的につながっていくところに、面白さを感じています。2年次生で「あれ、ここどこ一緒だな？」と気づいて、4年次生になったら「全部つながっている

ぞって。

【今元さん】「生物はどんなメカニズムで動いているのか」を知ったうえで、「どんなエラーが出れば、病気に発展するのか」を学んで、それに對してより適切な薬物治療を考えていく。この日々の学びがどんどんつながっていくところに、私も大きな魅力を感じています。

【理事長】そうですね。全部つながっているんです。そこに気がつけるかどうかで、授業や研究の面白さも変わってきますよね。

【桑田さん】薬学は実はとても広い分野を担う学問で、将来の選択肢も豊富ですね。世の中では、薬学部＝薬剤師というイメージがあると思いますが。

【理事長】社会一般にはその様に思われがちですが、本当は、薬学は、人が健康で幸せな人生を歩むことができるようにサポートする学問で、具体的には、特に医薬品を中心にその創製から使用まで広く関わる総合科学と捉えることができます。お二人も存じのように、この様に広い領域をカバーする薬学は、卒業後の就職先についてもさまざまですね。薬剤師の免

許を活用した就職としては、病院や薬局の薬剤師となり、医療人の一人として活躍する職種、企業に就職して、薬を創る創薬に携わる職種、さまざまな分野で用いられている医薬品を管理する職種、また、国家公務員や地方公務員になって行政に携わる職種など、社会のさまざまな分野で活躍することができます。また、今元さんのように、大学院に進学して、ひとつ上のレベルを目標として、企業や病院での研究員、あるいは大学の教員になる道もあります。桑田さんは今

5年次生で、そろそろ卒業後のことも考えはじめていると思いますが、どんな道に進みたいですか？

【桑田さん】企業の開発部門やCRO※で医薬品の開発に携わりたいと思っていますが、「製剤」にも興味が出てきました。

【理事長】お二人も「存じ」のように、新しい薬を創るには多額の資金と長い年月が必要です。でも、製剤の技術を用いて既存の薬に少し工夫を加えるだけで、生まれ変わらせることもできますね。いわゆるドラッグリポジショニングに製剤が一役を担うことができます。

【桑田さん】いろいろな分野に興味を持ちながら、じっくりと進路を模索していきたいです。

【理事長】そうですね。大学院に進学

するのも選択肢のひとつですよ。今元さんは博士課程の1年次生ですが、どんな進路を考えているんですか？

【今元さん】これはよく研究室の先生がおっしゃるのですが、研究を通して「問題を構造化して、それに対する情報を調べ、仮説を立てて実行に移していくプロセスを学びたい」と。これはどんな職種でも役立つと思うので、薬剤師の道に進むにしても、大学院での学びを生かしたよりレベルの高い仕事をしたいと考えています。

【理事長】本当にそうだと思います。研究を通して、ロジカルな考え方を身につけて、自然科学に挑戦して、未知の部分の明らかになってください。期待しています。

【今元さん】研究にはたくさんの課題があっても思うように進まない日もありますが、今後多くさんの発見をしながら、主体性や思考力もしっかりと養っていききたいです。

【理事長】今回二人と話をして、「若い人には無限の可能性があること」を改めて感じました。今後もどんどん学んで、新しいことに挑戦しながら、社会に更なる幸福をもたらす薬学のエキスパートへと成長してもらいたいと思います。今日はありがとうございました。

※ CRO：医薬品開発業務受託機関 (Contract Research Organization) の略称。



生化学研究室 今元 悠登さん(左)
博士課程 1年
研究テーマ
アルツハイマー病と糖鎖について

生化学研究室 桑田 刻弥さん(右)
5年
研究テーマ
コンドロイチン硫酸の合成異常による
細胞質分裂への影響



環境との調和を旨とする新棟。

※イメージ図のため実際とは異なる場合があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今回の建物および工事工法においてSDGsの取り組みとして以下の項目を採用し、CO₂排出量低減に取り組みます。

4 質の高い教育をみんなに
・アクティブラーニング対応AV設備
・メインホールでの書籍配架
・レンタルラボの設置

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
・照明屋光センサーによる自然光の取り入れ
・空調電力のピークカット

13 気候変動に具体的な対策を
・照明屋光センサーによる自然光の取り入れ
・低炭素型コンクリートの採用
・屋上緑化

5 ジェンダー平等を實現しよう
・ジェンダーフリートイレの設置

6 安全な水とトイレを世界中に
・トイレ節水型器具の採用

15 陸の豊かさも守ろう
・屋上緑化
・伐採木の再利用



資源を有効に使い、記憶を継承し、心地よい空間を生み出す。

A棟の建設に伴い伐採せざるを得なかった旧2・3号館の間の斜面に生えていたクヌギやクスノキ、桜などの樹木を製材・乾燥し、造作材として蘇らせることで、敷地内資源の有効活用と廃棄物の削減を実現します。伐採材は市場で流通している木材とは異なり、樹種や木目が入り交じり、節があったりしますが、それがこの地の個性となります。メインホールのカウンターをはじめとした、手に触れるところに用いることで、木材の心地よい空間を生み出すとともに、この地の記憶を新棟へと継承します。



研究タイトル

ストレスが健康や病態に及ぼす影響の解明

カンタンに説明すると

人はさまざまなストレスにさらされて生きています。メンタル的なストレスをはじめ、身の周りの家具やプラスチック製品などに含まれる化学物質、栄養素の不足なども体にはストレスになります。

私たちの研究室では、さまざまなタイプのストレスが健康や病気の進行にどのように影響するのかを研究しています。



体にどんな変化が起きるのか？
どうしてその変化が起きるのか？

新しい薬や
予防法の考案・開発

病気の発症、
回復のメカニズムを
解明

そのうちのひとつに、

そのひとつに、胎児性アルコールスペクトラム障害 (FASD) の研究があります。妊娠した女性が多量のお酒 (エタノール) を摂取すると、生まれてきた赤ちゃんの脳の発達に異常が出ることが知られています。私たちは、妊娠期間中にエタノールを与えることで FASD を発症した仔マウスを作製し、エタノールがどのように子供の脳の発達に影響を与えるのかを解析しています。これまでの解析で、エタノールが脳内のミクログリアという細胞に強い影響を与えることが分かり、またエタノールの毒性を和らげる働きを持つ分子を見つけることに成功しました。

エタノール
(お酒)

新しい薬の標的候補

ミクログリアがダメージを受けて
脳内のバランスが変化

脳の発達障害

脳内のミクログリアという細胞に強い影響

この研究は、社会にどのような影響を与えるの？

世界的な集計では出生した子供のうち1~5%がFASDであるといわれています。日本では集計が取られていないので正確な割合は不明ですが、少なくない数の子供たちがFASDによる発達異常を持っていると考えられています。FASDは症状がさまざまで、軽度なケースではFASDとして診断されにくい疾患です。しかしFASDが知らないうちに注意欠陥多動性障害 (ADHD) などの原因になることもあります。私たちの研究が、FASDに苦しむ子どもたちを早期に発見すること、またFASDに対する新しい処置法や薬の開発につながることで、こうした発達障害の子どもたちに対して適切な対応を促す一助になれば良いと考えています。これからの薬剤師さんは、単に薬を調剤するだけでなく、地域の人たちの健康維持に積極的に貢献することが期待されています。薬学を学ぶ学生さんが、身近なストレスによる健康障害の研究に携わることで、気づかれにくい疾患の発見や地域の人々に対する気遣いとモチベーションが身につけてくれることを願っています。

研究内容や
担当科目はこちら
衛生化学研究室



教えて先生! 研究内容をカンタンに

衛生化学研究室 長谷川 潤 教授

どんな研究をしているの？それが、どんな未来につながるの？

今回は、衛生化学研究室内の長谷川先生を訪れ、
現在研究室で取り組んでいる研究内容について
教えてもらいました。



Profile

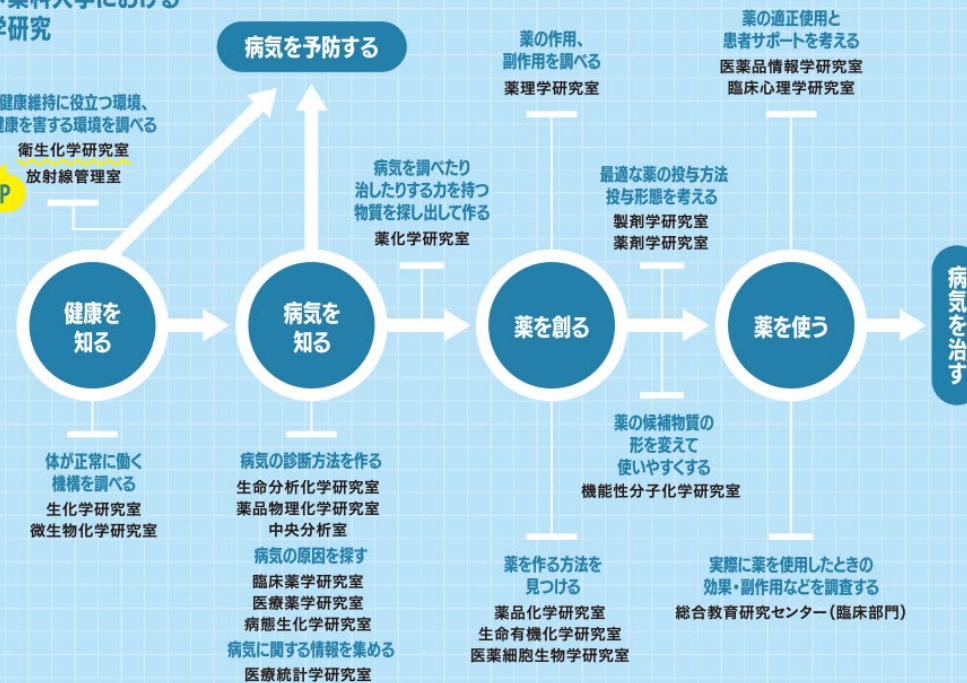
Professor
Hasegawa Hiroshi

2000年、京都大学大学院薬学研究科博士後期課程修了。(財)大阪バイオサイエンス研究所、(株)三菱化学生命科学研究所、デューク大学医学センター(米国)を経て、2008年に筑波大学大学院人間総合化学研究科にて助教、2012年に同大学医学医療系准教授。2016年1月、本学衛生化学研究室内の教授に就任。現在の研究室の研究テーマは「ストレスによる脳と免疫系の構造変化」「脳梗塞の病態解明と修復機構」「母子間の生物学的相互作用」。



神戸薬科大学における
薬学研究

今回はココをPICK UP



※一般の方の理解を促すため、正確な表現ではない部分もあります。

神薬カンケイ

たくさん新しい発見を
いっしょに。



生命有機化学研究室



波多野 学 教授

6年
西岡 千見さん

生命有機化学研究室

「生命有機化学研究室」では、創薬に関する生物活性物質や工業的に付加価値の高い機能性物質の創製を旨とし、選択的触媒反応プロセスを駆使した精密有機合成法の開発に取り組んでいます。「帰りが遅くならないように気を使ってくださいたり、冗談をおっしゃる一面があったり優しくてステキな先生です」と西岡さん。「学生らしい柔軟な頭で、楽しみながら研究に取り組んでください」と波多野先生。二人の様子から、本学の「教員と学生との距離の近さ」を改めて実感しました。

神薬カンケイ

ボディビルでも勉強でも、
ライバルです。



医療薬学研究室



機能性分子化学研究室



機能性分子化学研究室
6年
田中 智哉さん

医療薬学研究室
6年
伊藤 謙さん

医療薬学研究室

伊藤さんは、免疫細胞のひとつである制御性T細胞の役割に着目し、研究を続けています。「田中くんはいつも自分を高めてくれる存在! ずっと目標にしていた、日本一に絶対になってくれ!」と語ってくれました。

機能性分子化学研究室

ジグリセリドを添加したSMAエマルジョンの調製と物性評価をテーマに研究を行なった田中さん。伊藤さんには、「いつか大会で同じステージに立とう! その時は負けへんで!」と熱いエールを贈りました。

ANOTHER STORY

学生たちの、もうひとつの物語

日々、薬学の勉強や部活動に励む本学の学生たち。
ここではキャンパスで見られない、ステキなもうひとつの姿をお届けします。

「能楽」を始めたのは、小学4年生の頃で、舞台関係の仕事をしている祖母の勧めからです。以来10年以上にわたって稽古に励む毎日ではありますが、最初の数年間はいわゆる習い事程度にしか考えていませんでした。そんな私に転機が訪れたのは、高校2年生の頃。音楽の教科書に、「能楽は約650年の歴史がある世界最古の演劇」と書いてありました。すると「なんでこんなに長く続いているんだろう？」と急に気になって、気づけば図書室にある能楽に関する本をかき集めていました。そこから、あの所作はこういう意味だったのか、あの物語にはこんな歴史があったのかと知識が深まるにつれて、どんどん好きになりました。この経験からも能楽の魅力とは「自分から知れば知るほど、新しい扉が開くところ」と私は考えています。自ら寄り添えば、近づいてくれる奥深く美しい能楽に、幼い頃から親しめていることを今ではとても誇りに思います。まだまだ知識に乏しく演技もつたなく、新しい壁にぶつかる日々ではありますが、今後も新しい発見をしながら能楽師として成長していきたいです。そしてその中で、少しでも多くの人に能楽のすばらしさを感じてもらえればうれしいです。



今年の9月23日に京都観世会館で「経政」を演じました。また、フランスやギリシャなどの海外でも公演を行ったことがあります。

STUDENT NISHIO MOE

臨床心理学研究室 4年
西尾 萌さん

大学にいる時間は学業に専念しています。学年が進むにつれて各授業で得た知識がつながり合い、日々の勉強がますます楽しくなってきました。卒業後の進路はまだ検討中ですが、病院か薬局のどちらかに就職して、仕事と能楽師の活動を両立したいと考えています。

臨床心理学研究室はこちら



知れば知るほど、寄り添った数だけ新しい扉が開く、
奥深く美しい能楽の世界。

世界中の研究者が目ざす「アルツハイマー病」の創薬。
この難問に粘り強く挑み続け、ブロックバスターを生み出した。

大学院時代から血管の研究を行っていましたが、海外留学後に新たに所属することになった基礎研究室の教授から、「血管から見たアルツハイマー病の研究をしてはどうか」と提案され、以来、「アルツハイマー病の創薬」を目指して研究を続けています。研究はライフワークであると同時に、非常に贅沢な趣味でもあると思っています。これまでたくさんの研究資金をいただいてさまざまな研究を行ってきましたが、まだ研究成果を臨床には還元できていません。また、世界中で多くの研究者がアルツハイマー病の創薬に取り組んでいますが、満足とは言えない状況です。研究成果を社会に還元し、ブロックバスターを生み出すためにも、粘り強く研究を続けていきたいと思っています。



アルツハイマー病で苦しむ、すべての人々のために。

RIKITAKE YOSHIYUKI HISTORY



中学・高校・大学時代

中学・高校・大学時代と一貫してテニスばかりしていました。特に、中学時代は中高一貫校で高校受験がなかったことから、ずっとテニスに夢中で、県大会で優勝したこともありました。もちろん勉強にも真摯に取り組む、それなりの成績を取っていたと思います。



研修医・大学院時代

大学卒業後3年間は内科研修医として病院での研修のみならず、仕事仲間との飲み会やテニス、スキー、ボウリング、BBQなどのレクリエーションと、多忙を極めましたが、とても充実した期間でいい思い出がいっぱいです。その後大学院へ進学しました。



海外留学時代

大学院時代に海外での学会発表を重ねるうちに、いつしか海外留学を志すようになり、米国MA州のボストン(Harvard大学Brigham and Women's病院)に留学しました。一生忘れることのない思い出が詰まった濃密な3年間を過ごしました。

医療薬学研究室
力武 良行 教授

Front Runner

神研プロジェクトの最前線で活躍する教員たち



研究内容や担当科目はこちら
医療薬学研究室



生命分析化学研究室
中田 圭哉



薬品化学研究室
池上 はる香



機能性分子化学研究室
越智 卓也



Congratulations!
2022年度
卒業研究優秀賞
受賞者
卒業研究において、
優秀な成績を収めた学生を
表彰いたします。



薬剤学研究室
赤木 彩恵



生命有機化学研究室
桑野 葵咲



薬品物理化学研究室
木島 洗平



医薬細胞生物学研究室
川上 瑞生



生化学研究室
田近 優絵



薬理学研究室
脇本 景明



微生物化学研究室
森本 優樹



製剤学研究室
阪上 結



医療薬学研究室
成松 芽衣



臨床薬学研究室
向井 万里絵



衛生化学研究室
稲垣 舜



病態生化学研究室
龍見 奈央



医薬品情報学研究室
藤枝 未帆



放射線管理室
松本 真秀



中央分析室
三村 昂央



総合教育研究センター
錦織 リオ

QUESTIONNAIRE RESULTS

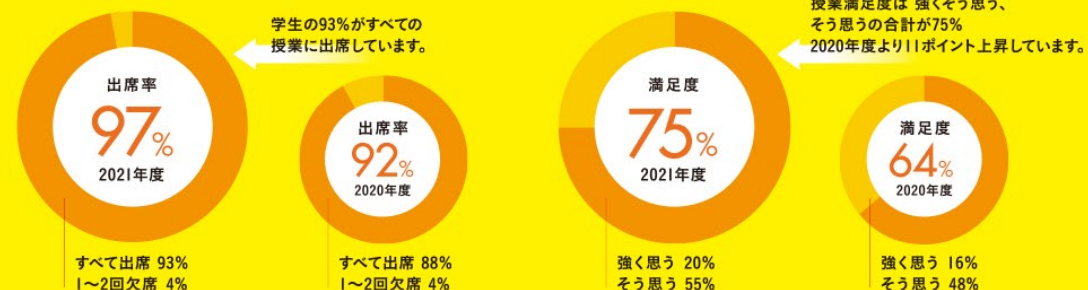
2021年度 授業評価アンケートの結果報告

本学では、授業の改善を目的とした学生による「授業評価アンケート」を実施しています。
「授業評価アンケート」とは全学年を対象に行い、評価対象となる教員は専任教員および非常勤講師です。
2021年度授業評価アンケートの集計結果と分析結果の概要を報告します。

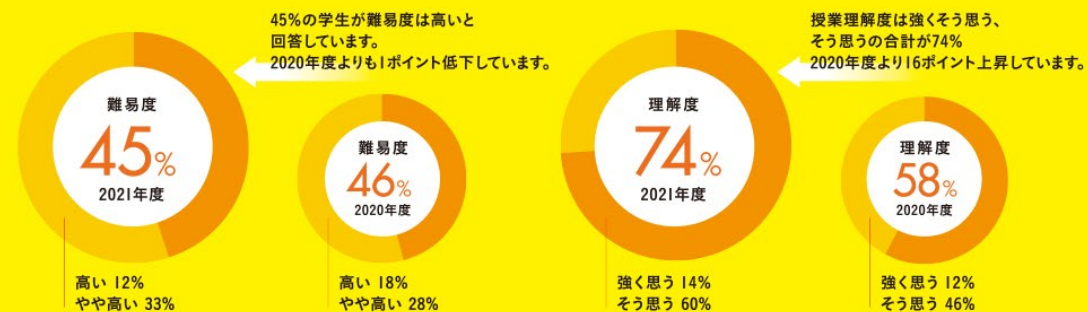
FD委員会

調査結果の要約

授業について

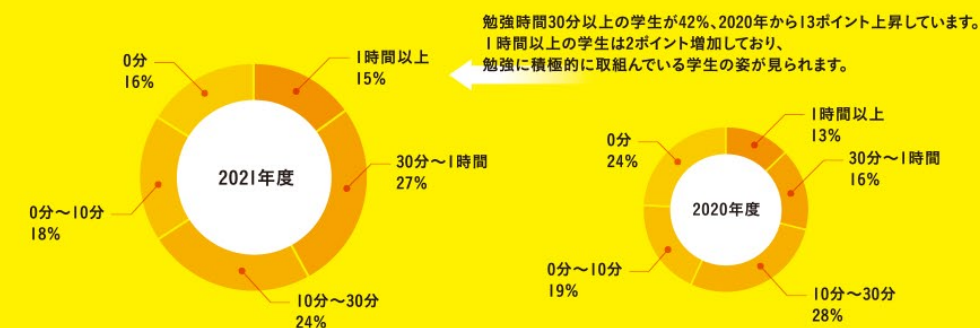


コロナ禍による授業運営体制や提供方法の変更が大きく影響したものと分析していますが、CampusPlanポータル(学務ポータル)とWebClass(学修支援システム)の連携導入で学生一人ひとりにきめ細かく対応するオンライン学修環境が実現し、また対面授業(大講義室)においては2クラスで実施しながら、Zoomでもリアルタイム配信を行うなど新型コロナウイルス感染症対策を講じた授業方法が浸透したことにより、2021年度においては授業満足度が大きく改善しています。



勉強時間について

授業科目に対する予習・復習時間は?



Event Report



OPEN CAMPUS

7月31日(日)・8月6日(土)・7日(日)の3日間、夏のオープンキャンパスを実施いたしました。好評につき、新たに10月1日(土)・2日(日)の日程で開催いたしました。新型コロナウイルス感染症対策のため一定の距離を保って行いましたが、学生たちと対話を楽しんでいる高校生の姿が多く見受けられました。



Information

人事・組織機構改正

- 【退職】〈退職〉講師 阿部 興(医療統計学研究室)(以上2022年5月5日付)
 (依頼退職) 講師 沖津 貴志(生命有機化学研究室)(以上2022年6月30日付)
 助教 池田 義人(医薬細胞生物学研究室)(以上2022年7月31日付)
- 【採用】係長(技術者) 佐野 支帆子(事務局施設課)(以上2022年10月1日付)

受章・受賞・表彰

- 故 堀坂 和敬 名誉教授「叙位 従五位」(2022年8月24日付)
- 難波 宏彰 名誉教授「2022年秋の叙勲 瑞宝小綬章」(2022年11月3日付)
- 6年 木島 洗平(薬品物理化学研究室)「日本薬学会第142年会学生優秀発表賞(ポスター発表)」(2022年4月21日付)
- 6年 安井 みらの(薬剂学研究室)「日本薬剂学会第37年会永井財団学部学生七つ星薬師奨励賞」(2022年5月27日付)
- 6年 阪上 結(製剤学研究室)「日本薬剂学会第37年会永井財団学部学生七つ星薬師奨励賞」(2022年5月27日付)
- D4 原武 芳江(薬品物理化学講座)「第16回日本分子イメージング学会優秀発表賞」(2022年5月27日付)
- D3 東 里沙(薬品物理化学講座)「第59回アイソトープ・放射線研究発表会若手優秀講演賞」(2022年7月8日付)
- 佐野 紘平 准教授(薬品物理化学研究室)「2022年日本アイソトープ協会奨励賞」(2022年7月25日付)
- D3 東 里沙(薬品物理化学講座)「第5回放射性薬品科学研究会学生部門優秀発表賞」(2022年9月17日付)
- D1 今元 悠登(生化学講座)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀口頭発表賞」(2022年10月8日付)
- 6年 野田 海渡(薬剂学研究室)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀口頭発表賞」(2022年10月8日付)
- 6年 赤木 彩恵(薬剂学研究室)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀口頭発表賞」(2022年10月8日付)
- 6年 鏡本 静倉(薬剂学研究室)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀ポスター発表賞」(2022年10月8日付)
- 6年 永井 皓也(薬品化学研究室)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀ポスター発表賞」(2022年10月8日付)
- 6年 池上 はる香(薬品化学研究室)「第72回日本薬学会関西支部総会・大会優秀ポスター発表賞」(2022年10月8日付)

寄付

【金一封】
 深井 栄里様/株式会社大阪ソーダ/桔梗育友会

お祝金

同窓会兵庫県支部から創立90周年お祝金をいただきました。
 2022年9月

Event Calendar

2022.4 April - 2022.9 September

■ オンライン ■ ハイブリッド
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ の数字は対象年次を示しています。

- 4 2 入学式
- 4 ⑤ 病院・薬局実習受講説明会 (2期-3期グループ、3期-4期グループ)
 ④ ⑤ インターンシップキックオフセミナー
- 5 ④ 単位制(大学推薦制・公募制) インターンシップ受講説明会
 ④ ビジスマナー講座
- 6 前期開講日
- 11 ④ ⑤ 「インターンシップ」エントリーシートのお書き方ガイダンス
- 27 第90回創立記念日
- 5 12 ④ ⑤ SPI3能力検査 受検会
- 16 第23回公開市民講座 (5/16~5/30)
- 23 ⑤ 病院実習・薬局実習開始 (2期:5/23~8/7)
- 6 4 TOEIC L&R IPテスト
- 9-11 ⑥ 卒業研究発表会(全3日)
- 18 ④ ⑤ 単位制(大学推薦制・公募制) インターンシップ 学内選考会
- 25 ④ ⑤ 就活実践セミナー
 ④ ⑤ 単位制(大学推薦制・公募制) インターンシップ 事前説明会・報告会打ち合わせ会
- 7 7 教育改革プログラム公開報告会 学内共同研究公開報告会
- 8 ②~⑥ 前期定期試験(10日間)
- 25 ① 前期定期試験(5日間)
- 31 オープンキャンパス
- 8 6 オープンキャンパス
- 7 オープンキャンパス
- 22 ⑤ 病院実習・薬局実習開始 (3期:8/22~11/6)
- 27 ① ② ③ ④ 3薬科大学共同「公務員職種理解セミナー」
- 29 ① 前期追再試験(5日間) 8/29~9/2
 ②~⑥ 前期追再試験(7日間)
- 9 5-9 ① 初期体験臨床実習
- 7 ① ② ③ 5社5大学共同企画「製薬企業理解セミナー」
- 12 ① 後期開講日
- 17 ⑤ 病院実習・薬局実習報告会 (1期-2期グループ)
- 20 ②~⑥ 後期開講日

**健康で美しい体をつくる、
 間食選びのポイントとおすすめの食べ物。**

ダイエットしたい!と思いつつも、ついお菓子を食べてしまい、後悔することはありませんか?実は「ダイエットの敵」と思われがちな間食でも、キチンと選べば、健康で美しい体をつくる強い味方になってくれるんです。そこで今回は、間食選びのポイントと、おすすめの食べ物を紹介します!ぜひ、参考にしてください!

ひとりで悩まずに不安なことは気軽に相談しよう。

友人や家族と会うのが難しい中、悩みを誰にも話せずにいませんか?
 本学にはからだところの相談窓口(1号館3階)があります。

からだの相談(医務室) | ところの相談(学生相談室)

TEL:078-414-8127 | **TEL:078-441-7528**

間食選びの
 ポイントと
 おすすめの
 食べ物